2023 11月号 福岡地区労連

発行：福岡地区労働組合総連合
〒812-0016
福岡市博多区博多駅南１－９－８
ケイ・アイビル２Ｆ
TEL　092-433-3338
FAX　092-433-3535
Mail：fukuciku@gmail.com
（ＨＰはこちら）

＜福岡地区労連　第34回定期大会＞

憲法守る・大幅賃上げ・いのちを守る 平和で公正な社会をつくろう

3つの要求で活動に飛躍を

福岡地区労連は、10月22日(日)午後から福岡県労連大会議室で第34回定期大会を開催しました。福岡地区労連は今回の定期大会を「平和か戦争か」の〝重大な岐路〟に当たると位置づけて開催しました。定期大会には会場及びオンライン合わせて来賓3名、代議員47名（含委任21名）、傍聴2名の52名が参加し、議案はすべて満場一致で採択され、議長に米地(再)議長、事務局長に内田(再)事務局長を選出しました。

平和にくらせる社会を守る

定期大会は水島議長の開会の挨拶で始まり、大会議長に福建労の岩永代議員と建交労の秀島代議員を選出し議事が進行しました。

主催者を代表して米地議長は冒頭「世界中の多くの人は戦争を望んでいない、平和憲法を恒常的に維持しなければならない。団結して要求の実現を求めよう」と挨拶しました。

来賓には懸谷福岡県労連副議長、中山日本共産党福岡市議、無所属の森綾子福岡市議から激励の挨拶をしていただきました。

議案は内田事務局長から一年間の活動経過報告、決算報告、情勢報告、今後一年間の運動及び財政方針を提案しました。福岡地区労連は今後一年間の運動の課題として大きく3つ提起しました。1つは、憲法と平和・くらしを守るたたかい、2つは賃上げと労働時間短縮を実現させるたたかい、3つはいのちと社会保障を守るたたかいです。

岸田内閣は、在任中に憲法改正を行うことを表明しており、国会でも憲法審査会が議論を進めています。現在、改憲勢力が3分の2の議席を占めていますが、国民の改憲反対の世論によって食い止めている状態です。政府やマスコミは対中関係が緊張状態にあることを強調し、閣僚からも台湾有事は日本の有事だとする発言も相次いでいます。

福岡地区労連は、定期大会で憲法を活かし、平和にくらせる社会を守るため、方針の最初に位置付けて運動を展開します。平和憲法の重要性を知るための学習会を企画し、憲法に精通している弁護士を講師に招き、学習で意思統一を図ります。また、憲法改正に反対する世論を構築し

〈ウラ面へつづく〉

《新加盟組合紹介》

職場の労働条件改善に向けて

太平環境科学センター労働組合
執行委員長　小山 氏

福岡地区労連に新しい仲間が加わりました。

太平環境科学センター労働組合（太平環境労組）です。

太平環境労組は、職場のパワハラ、サービス残業をなくすため、県労連の労働相談を通じて6人で組合を立ち上げました。上部団体は全労連全国一般に加入しています。

結成当初は毎週職場集会を行い、初団交までに組織拡大を進め、団交日には48人まで拡大し、職場労働者の過半数を越えました。

団体交渉は、会社側弁護士が主に対応し、未払い残業代を支払う意思を表明しています。

福岡地区労連の定期大会に参加した小山執行委員長は、「さまざまな職場で問題があり、皆さんが闘っていることを共有できました。職場の労働条件改善のため引き続き頑張ります」と決意をのべました。太平環境労組では、今後も不利益変更が行われる恐れがあり闘いは続きます。

〈オモテ面からつづき〉

ていくために、改憲反対のはがき署名を配布します。日本の将来を決める大きな岐路にたっているため、みんなの力を合わせて取り組んでいきます。

48名の仲間が新しく加盟

今回の定期大会は特筆すべきことがあります。それは新しく48名の仲間で組織して生まれたばかりの太平環境科学センター労働組合（以下「太平環境労組」）が福岡地区労連に加盟したことです。（1面新加盟組合紹介参照）太平環境労組は、職場のパワハラやサービス残業の横行に不満を覚えたことがきっかけで2023年2月に結成されました。福岡地区労連として今後も太平環境労組の支援を継続していきます。

春闘では賃金引き上げに力点をおき、実利を伴う闘いが重要です。国民春闘共闘のスローガンで闘う労働組合のバージョンアップを掲げています。ここで重要なことは、労働組合の唯一最大の武器であるストライキをどのように活用するかです。ストは、単に打てばよいものではありません。組合員の意見を集約し、くらしていくための賃上げはどのようなものにするのか、要求を練り上げ全体の意思統一が必要です。団体交渉で賃上げが実現しない場合は、ストに踏み切るのか、スト権集約に組合全体の意思統一がどこまで図られるのか、スト権確立の会社への通知後の団体交渉は重要です。会社はストの決行を回避したいのは当然です。スト決行を交渉のカードにして賃上げを獲得しましょう。ス

社会保障拡充をめざそう

岸田政権は、5年間で43兆円の大軍拡大増税を計画しています。その財源として所得税、たばこ税、復興税が狙われています。また、物価高騰対策として所得税を7万円減税する話も出ていますが、報道番組の国民インタビューでは、「どうせ選挙が終われば取り返される」と、冷ややかな意見やばらまき減税に対する批判の声が出ていました。一方で子育てや介護など一番求められている社会保障を拡充しようとはしません。社会保障は可処分所得を引き上げるための有効な対策です。福岡地区労連では、今年度、給食費の無償化、返済不要の奨学金制度、最低賃金の引き上げなどに取り組みます。効果的な対策として社会保障拡充に関する署名や地方議会の意見書採択推進運動を展開していきます。（編集委員　内田）

トを背景にみんなが納得いく結果を出してこそ、闘う労働組合へとバージョンアップすることに繋がります。

福岡地区労連では、要請に応じて団体交渉やストライキ支援に取り組みます。

保証年金制度などに取

にダンスを取り入れたり、デモパレードのシュプレッヒコールもラップ調にして楽しさを取り入れていました。参加したいと思える集会になっており、ひとつの運動の前進だと感じました。通りすがりの人の反応もこれまでよりよかったです。今の情勢で運動を前進させるのは並大抵のことではありませんが、今のあるべき運動の在り方を繰り返し議論し、参加する人が楽しくなり、かつ運動が前進できるよう協力します。

〈10・15 LOVE&PEACE平和のつどい〉

今あるべき運動の在り方へ

福岡地区労連　事務局次長（元）　矢野　哲也

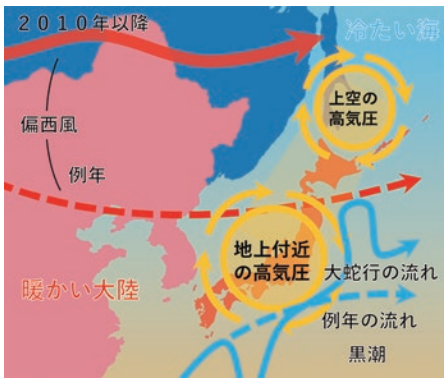
平和のつどいで披露されたオープニングダンス（警固公園）

10月15日に開催された福岡県総がかり実行委員会主催LOVE&PEACE平和のつどいに参加しました。これまで何度も総がかり実行委員会による総がかり行動や県民集会などに参加してきましたが、今回はこれまでと少し違うと思いました。企画などの一部を青年たちが若者会議と称して、総がかり実行委員会とは別に議論し、計画したことでオープニング

〈労働組合と地球環境問題を考える⑱〉

猛暑の原因は平年より5度高い海水温

今年の全国的に夏から9月後半まで続く異例の猛暑について、気象庁は統計開始以来もっとも高かったと発表しました。三重大学と九州大学の研究チームが、地球全体の気候が2010年頃を境に変わった可能性があるとして、猛暑が続いている主要因を、1つはユーラシア大陸北東部の温暖化、2つは近年著しく進んでいる北極の温暖化と指摘しました。北極や大陸の温暖化はすぐには止まらないため、猛暑が続くことが予想されます。また、日本近海の海水温が平年より5度高い海水温の上昇が、猛暑を引き起こし猛暑が線上降水帯を発達させ、全国各地で豪雨が発生した原因になっていると考えられます。これまでの常識では説明できない異常気象が当たり前になる時代がもう来ているのではないかと懸念しています。（編集委員　恵藤）



2010年以降の猛暑が続く理由

大会宣言（案）

福岡地区労連は10月22日福岡市で第34回定期大会を開催した。大会では福岡地区の労働者が危機に直面していることが明らかとなった。ひとつは賃金がほとんど上がらない中で、生活必需品の価格だけが高騰していることによる生活危機、もう一つは防衛費の増大と九州各地の軍事基地拡充による「戦後から戦前」になりつつある平和の危機である。

この2つの危機に加え、様々な格差を助長し支配する政策に翻弄され、地域や職場に分断をもたらし、高齢者やシングルマザー、その他困難を抱えている労働者が孤立している。いまこそ、労働組合が役割を発揮して職場や地域で、困難を抱えている労働者に寄り添い、組織を強く大きくしながら、団結の力で危機を乗り越えなければいけない。

ロシアのウクライナ侵略は絶対に許すことができないし、朝鮮半島や台湾有事を口実とする、日米同盟の強化、憲法違反の敵基地攻撃能力の保持、軍事費倍増に断固反対する。一部の富裕層と大企業だけが巨額の富を独占し、困窮する国民生活を顧みない悪政と、戦争する国づくりを許さない国民的なたたかいに全力をあげていく。あらゆる差別に反対し格差を是正し、世界に誇る平和憲法を生かす「政治への転換」をめざし、職場・地域を出発点にたたかいを展開する。

物価上昇が止まらないなか、賃上げをはじめとする可処分所得の改善は、まったなしの課題である。そのためにも格差を是正し支出を減らす消費税減税などの税制改革、保険料負担を減らして給付を充実させる社会保障改革、など最低賃金の闘いを活かした賃金闘争と連携させ、すべての組織で運動を強化する。また、様々な労働法制改悪に反対し、有期雇用の無期転換・派遣労働者の直接雇用化にむけた取り組み、公共性の高い事業の再公営化、地域循環型経済を求める運動など、地域住民と共同で「地域活性化大運動」を展開する。

私たちは現在の到達点を確認し、今後の飛躍を誓いあい、第34回定期大会を成功させた。課題を共有し、共に学び成長しあいながら、組織を強く大きくし、幅広い団体との共同で「憲法改悪阻止」「働く者の人間らしい労働と生活の実現」「平和で公正な社会をつくる」ために福岡地区労連の総力を挙げて奮闘するものである。以上、宣言する。

2023年10月22日
福岡地区労働組合総連合
第34回定期大会

30

今後のスケジュール

●**福岡県春闘総会**
12月10日（日）10：30～17：00
第3博多偕成ビル4階

●**インボイス中止を求める運動**
12月22日（金）18：00～
博多駅筑紫口

●**福岡地区春闘共闘2023年度総会**
1月21日（日）
受付12：30　開会13：00　閉会17：00
新春旗開き
18：00～

【新役員一覧】

議長	米地	輝高	郵政ユニオン中郵支部
副議長	惠藤	英昭	福岡地区国公
副議長	北川	和利	福建労福岡西支部
事務局長	内田	大亮	自交総連福自交労組
事務局次長	河谷	靖	福岡医療団労組
幹事	伊藤	絹江	県連福医協労組
幹事	岩崎	裕子	福祉保育労福岡支部
幹事	小松	泰輝	福岡医療団労組
幹事	田口	弘子	福建労福岡西支部
幹事	中村	朗	自交総連太宰府タクシー労組
幹事	松尾	真太	あかつき印刷労組九州分会
幹事	森塚	利秋	年金者組合福岡市協
幹事	山崎	真	福岡地区国公
幹事	山中	健	福建労福岡東支部
会計監査	鈴木	恵美	劇団風の子九州労組
会計監査	山崎	由紀	福法労第一分会

（あいうえお順にて）